

臨床検査技師 平成27年4月採用
大分県立病院 臨床検査技術部
後藤 裕幸

県民の健康を守る
検査技師へ



現在の仕事内容は？

大分県立病院の臨床検査技術部で病理検査を担当しています。病理部門では、患者様から摘出された臓器や生検検体から顕微鏡標本を作製し、癌などの病気の診断を手助けする組織検査を行っています。また、患者様の病変部分から細胞を採取し、癌やその他の病気を診断する細胞検査や亡くなった患者様の遺体を解剖し、治療の適切性や死因の特定を行い、医療の質の向上を目指す解剖検査を行っています。さらに、通常業務に加え、採血や夜間・休日の当番検査等も行っています。

仕事のやりがい・魅力について

細胞検査での病気の診断は細胞検査士が行っていますが、豊富な知識や経験が必要な難しい検査の一つです。私は細胞検査士の資格をとって間もないですが、標本を顕微鏡で観察し、正しい診断と自分の考える診断が同じだった時にとてもやりがいを感じます。

大分県を志望した理由は？

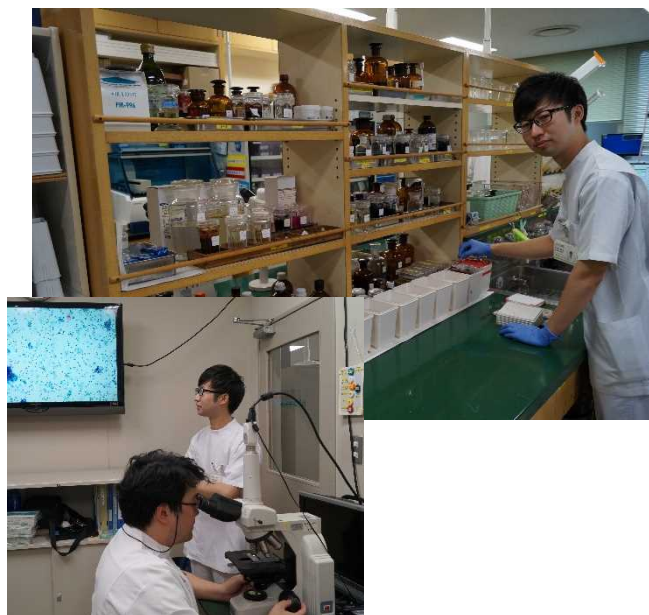
大分県職員の検査技師は、病院勤務だけでなく、県庁や保健所、衛生環境研究センターといった病院以外の幅広い業務に従事できることに魅力を感じました。

仕事と私生活の両立について

日々の業務は忙しく、勤務時間内だけでは検査のスキルアップや知識の習得までは難しいですが、アフターファイブは趣味の時間に充てられるよう、プライベート時間の確保に努めています。

これからの目標は？

細胞検査士として、大分県の健康寿命の引き上げに貢献できるよう、必要な知識を習得し、検査の精度を上げていきたいと考えています。



～メッセージ～

大分県職員の検査技師は、他の病院ではできない仕事を経験することができます。また、保健所や県庁など、病院以外の勤務もあり、貴重な経験を積むことができます。私たちと一緒に大分県で働いてみませんか。



ある1日のスケジュール

- | | |
|-------|---------------------------|
| 8:15 | 出勤、機器の立ち上げ |
| 8:30 | 病理組織標本作製、術中迅速検査、病理検体の受付など |
| 12:00 | 昼休み |
| 13:00 | 特殊染色、免疫染色など |
| 17:00 | 機器の立ち下げ、退庁 |